

# 推薦医療機関における指針充足状況等 について



# 宮 城 県

岩沼医療圏	
人 口	約16万人
既指定がん診療連携拠点病院	宮城県立がんセンター（平成14年3月26日）
備 考	（県拠点病院として2病院推薦した理由） ・宮城県立がんセンターは、総合的ながん医療情報の収集、分析及び発信を、東北大学医学部附属病院は、がん専門医の教育機能、一般医の資質向上といった人材育成を担うなど、役割を分担し、相互に連携して県拠点病院としての役割を担う。
<b>宮城県立がんセンター</b>	
新規・更新の別	地域がん診療拠点病院として指定済（平成14年3月15日）。
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	383床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	3,885名 （92.7%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

仙台医療圏	
人 口	約102万人
既指定がん診療連携拠点病院	労働者健康福祉機構 東北労災病院（平成15年8月26日）
備 考	（県拠点病院として2病院推薦した理由） ・同上。  （複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由） ・人口が多い。 ・隣接する拠点病院のない医療圏（塩釜医療圏、黒川医療圏）をカバーする。
<b>東北大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	1,196床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	4,934名 （34.3%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	650床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	3,115名 （25.1%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 秋 田 県 No. 1

<b>大館・鹿角医療圏</b>	
人 口	約13万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>大館市立総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	375床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	900名 (16.2%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアチームなし。</li> <li>・院内がん登録を行っていない。</li> </ul>

<b>能代・山本医療圏</b>	
人 口	約10万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>秋田県厚生農業協同組合連合会 山本組合総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	470床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	703名 (10.3%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアチームなし。</li> <li>・院内がん登録を行っていない。</li> </ul>

# 秋 田 県 No. 2

<b>秋田周辺医療圏①</b>	
人 口	約43万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	<p>(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県の人口(114万人)のうち38%が秋田周辺医療圏に集中している。</li> <li>・県内におけるがん全体の手術件数はこの地域で約5割。</li> </ul> <p>(問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担、拠点病院のない隣接する医療圏との関係等に関する説明なし。</li> </ul>
<b>国立大学法人 秋田大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	574床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,019名 (25.8%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度中に院内がん登録を必ず実施。</li> <li>・平成18年度中に緩和ケアチームを必ず整備。</li> <li>・平成18年度中に腫瘍センターを必ず整備。</li> <li>・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。</li> </ul>
<b>秋田赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	496床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,097名 (18.0%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアチームなし。</li> <li>・相談支援センター(相談室)は整備されているが、相談室に専任の相談対応者なし。</li> </ul>
<b>市立秋田総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	376床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,317名 (29.5%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器がん以外、院内がん登録を行っていない。</li> </ul>

# 秋 田 県 No. 3

秋田周辺医療圏②	
<b>医療法人明和会 中通総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	491床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,673名 (21.1%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田組合総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	477床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,119名 (13.2%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 秋 田 県 No. 4

<b>本荘・由利医療圏</b>	
人 口	約12万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>秋田厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	554床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,805名 (17.6%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・大腸がん、胃がん、乳がん以外、院内がん登録を行っていない。
<b>医療法人青嵐会 本荘第一病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	160床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	220名 (8.2%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・大腸がん、胃がん、乳がん、肺がん以外、院内がん登録を行っていない。

<b>大曲・仙北医療圏</b>	
人 口	約15万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>秋田厚生農業協同組合連合会 仙北組合総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	608床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,162名 (14.0%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。

秋 田 県 No. 5

<b>横手・平鹿医療圏</b>	
人 口	約10万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>秋田厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	640床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,152名 (13.8%)
指定要件の充足度	・相談支援センター(医療相談室)は整備済みだが、専任の相談対応者なし。
<b>市立横手病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	250床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	221名 (5.5%)
指定要件の充足度	・胃がん、大腸がん、乳がん、肝胆道がん以外、院内がん登録を行っていない。

<b>湯沢・雄勝医療圏</b>	
人 口	約7万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>雄勝中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	376床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	748名 (13.1%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。



# 山 形 県

村山医療圏	
人 口	約58万人
既指定がん診療連携拠点病院	山形県立中央病院（平成15年8月26日）
備 考	<p>（複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村山医療圏は、山形市を含む14市町にまたがり、圏域人口が約60万人と県人口の半数を占め、1次医療機関や他の2次医療機関からの紹介等はこの3病院にそれぞれ集中しているため。</li> </ul> <p>（問題点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3病院はいずれも山形市内にあり、複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。</li> <li>・隣接する最上医療圏、置賜医療圏については、現在、拠点病院はないが、今後、それぞれ1病院を推薦予定。</li> </ul>
<b>山形市立病院済生館</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	585床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	2,116名 （18.4%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>国立大学法人 山形大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	564床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	2,269名 （29.2%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備は行われている。

庄内医療圏	
人 口	約31万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	・今後、庄内医療圏では、今回推薦している山形県立日本海病院に加えて、1病院を推薦予定。
<b>山形県立日本海病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	524床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	1,164名 （14.7%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 栃 木 県 No. 1

<b>県北医療圏</b>	
人 口	約 34 万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大田原赤十字病院は、主に大田原市以北のかかりつけ医との連携が確立されている。</li> <li>・ 塩谷総合病院は、主に矢板市以南のかかりつけ医との連携がとれている。</li> </ul>
<b>日本赤十字社栃木県本部 大田原赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	500床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	1,022名 (12.1%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緩和ケアチームなし。</li> <li>・ 院内がん登録を行っていない。</li> </ul>
<b>栃木県厚生農業協同組合 塩谷総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	254床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	785名 (20.8%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緩和ケアチームなし。</li> <li>・ 院内がん登録を行っていない。</li> </ul>

# 栃 木 県 No. 2

<b>県東・央医療圏</b>	
人 口	約74万人
既指定がん診療連携拠点病院	栃木県立がんセンター（平成15年8月26日） （複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由）
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県東・央医療圏から、宇都宮市を分離予定。</li> <li>・ 栃木県立がんセンター、済生会宇都宮病院、国立病院機構栃木病院の所在地は、宇都宮市である。</li> <li>・ 拠点病院のない県西医療圏の日光市や鹿沼市から多くのがん患者が済生会宇都宮病院、国立病院機構に入・通院している。</li> <li>・ 圏域の東部及び南部にがん患者が自治医科大学附属病院に入・通院している。</li> </ul>
<b>自治医科大学附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	1,041床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	4,551名 （23.0%）
指定要件の充足度	・ 院内がん登録を行っていない。
<b>栃木県済生会 宇都宮病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	644床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	3,277名 （23.1%）
指定要件の充足度	・ 緩和ケアチームなし。
<b>独立行政法人国立病院機構 栃木病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	456床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	423名 （5.8%）
指定要件の充足度	・ 院内がん登録を行っていない。

# 栃 木 県 No. 3

県南医療圏	
人 口	約45万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の西部を下都賀総合病院が、それ以外を獨協医科大学病院がそれぞれカバーしている。</li> <li>・拠点病院のない県西医療圏の鹿沼市から多くのがん患者が獨協医科大学病院に入・通院している。</li> </ul>
<b>獨協医科大学病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	1,125床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	5,724名 (26.6%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアチームなし。</li> <li>・腫瘍センターを設置していない。</li> </ul>
<b>栃木県厚生農業協同組合 下都賀総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	354床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	770名 (15.1%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアチームなし。</li> <li>・院内がん登録を実施していない。</li> </ul>

両毛医療圏	
人 口	約28万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐野厚生総合病院は、主に佐野市のかかりつけ医との連携体制が確立されている。</li> <li>・足利赤十字病院は、主に足利市のかかりつけ医との連携が確立されている。</li> </ul>
<b>佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	376床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	372名 (8.8%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアチームなし。</li> </ul>
<b>日本赤十字社栃木県本部 足利赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	530床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,462名 (23.3%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん以外は、院内がん登録を実施していない。</li> </ul>

# 群馬県

<b>前橋医療圏</b>	
人口	約34万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
<b>国立大学法人群馬大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	656床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	3,625名 (31.1%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度中に腫瘍センターを必ず設置。</li> <li>その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。</li> </ul>

<b>沼田医療圏</b>	
人口	約10万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	<p>(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沼田医療圏と隣接する吾妻医療圏は、医療面で一体的な診療圏を形成しており、両病院には、吾妻医療圏から多数の患者が受診している。</li> <li>吾妻・沼田医療圏には、がん治療を専門的に行う医療機関が他にない。</li> </ul>
<b>独立行政法人国立病院機構 沼田病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	200床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	496名 (26.3%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指針に定める必須要件の整備が行われている。</li> </ul>
<b>利根保健生活協同組合 利根中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	282床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	941名 (15.8%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指針に定める必須要件の整備が行われている。</li> </ul>

<b>伊勢崎医療圏</b>	
人口	約23万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
<b>伊勢崎市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	520床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	2,309名 (19.3%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指針に定める必須要件の整備が行われている</li> </ul>

## 埼 玉 県

<b>西部第一医療圏</b>	
人 口	約165万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>埼玉医科大学総合医療センター</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	913床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	4,083名 (25.0%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。

<b>大里医療圏</b>	
人 口	約39万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>深谷赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	500床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	1,439名 (16.6%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

## 千 葉 県

<b>千葉医療圏</b>	
人 口	約92万人
既指定がん診療連携拠点病院	千葉県がんセンター（平成14年8月13日）
備 考	特記すべき事項なし
<b>千葉県がんセンター</b>	
新規・更新の別	地域がん診療拠点病院として指定済（平成14年8月13日）
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	341床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	5,424名 (97.6%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 神奈川県 No. 1

横浜西部医療圏	
人口	約108万人
既指定がん診療連携拠点病院	神奈川県立がんセンター（平成14年12月9日）
備考	<p>（複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜西部医療圏の108万人と多いこともあり、県内のがん医療の中心となる都道府県がん診療連携拠点病院としての県立がんセンターとは別に、横浜西部医療圏のがん医療の中心となる地域がん診療連携拠点病院としての横浜市立市民病院の役割分担によりがん診療体制を整備するため。</li> <li>・交通網の関係からも、神奈川県立がんセンターは相模鉄道沿い、横浜市立市民病院は横浜市営地下鉄沿いにあることから、医療圏内の患者の受療通院圏域も別れている。</li> </ul>
<b>横浜市立市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	600床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	3,205名 （23.0%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

川崎南部医療圏	
人口	約56万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
<b>川崎市立井田病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	385床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	979名 （19.7%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

横須賀・三浦医療圏	
人口	約74万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
<b>国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	736床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	2,884名 （19.4%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 神奈川県 No. 2

県北医療圏	
人口	約70万人
既指定がん診療連携拠点病院 備考	なし 特記すべき事項なし
神奈川県厚生農業協同組合連合会 相模原協同病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	471床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,280名 (15.6%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

県西医療圏	
人口	約36万人
既指定がん診療連携拠点病院 備考	なし 特記すべき事項なし
小田原市立病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	417床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	743名 (9.1%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。



# 新潟県 No. 1

新潟医療圏	
人口	約93万人
既指定がん診療連携拠点病院	新潟県立がんセンター 新潟病院 (平成14年12月10日)
備考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・新潟医療圏に加え、拠点病院のない下越医療圏、佐渡医療圏、県央医療圏の一部を3病院で対応。
<b>独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	370床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	413名 (18.7%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。
<b>新潟市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	706床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,060名 (8.0%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

中越医療圏	
人口	約39万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・中越医療圏に加え、拠点病院のない魚沼医療圏の一部及び県央医療圏の一部を2病院で対応。
<b>新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	531床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,328名 (21.9%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>長岡赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	686床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,184名 (23.3%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 新潟県 No. 2

<b>上越医療圏</b>	
人口	約30万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・上越医療圏に加え、拠点病院のない魚沼医療圏の一部を2病院で担当。
<b>新潟県立中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	524床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,569名 (24.0%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>独立行政法人労働者健康福祉機構 新潟労災病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	385床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,014名 (15.9%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。

# 富 山 県

<b>富山医療圏</b>	
人 口	約51万人
既指定がん診療連携拠点病院	富山県立中央病院（平成14年12月9日）
備 考	特記すべき事項なし
<b>富山県立中央病院</b>	
新規・更新の別	地域がん診療拠点病院として指定済（平成14年12月9日）
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	710床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	4,078名 （27.1%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 山 梨 県 No. 1

中北医療圏	
人 口	約47万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨大学医学部附属病院は、特定機能病院として、診療体制の水準は高く、研修体制、情報提供体制等も十分確保されている。</li> <li>・山梨県立中央病院は、末期がん患者等のために緩和ケア病棟が設置されている。</li> </ul>
<b>国立大学法人山梨大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	560床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,255名 (25.0%)
指定要件の充足度	・腫瘍センターが整備されていない。
<b>山梨県立中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	669床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,405名 (31.6%)
指定要件の充足度	・平成18年度中に院内がん登録を必ず実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。</li> </ul>

岐東医療圏	
人 口	約15万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>財団法人山梨厚生会 山梨厚生病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	339床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	843名 (15.9%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。

# 山 梨 県 No. 2

<b>富士・東部医療圏</b>	
人 口	約20万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>国民健康保険 富士吉田市立病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	250床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	480名 (8.2%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。

# 長野県

佐久医療圏	
人口	約21万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
長野県厚生農業共同組合連合会 佐久総合病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	665床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,467名 (13.2%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

諏訪医療圏	
人口	約21万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
諏訪赤十字病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	425床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,750名 (20.2%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

松本医療圏	
人口	約43万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
国立大学法人信州大学医学部附属病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	660床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,405名 (29.5%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

## 岐 阜 県

岐阜医療圏	
人 口	約80万人
既指定がん診療連携拠点病院	岐阜県立岐阜病院（平成17年1月17日） 岐阜市民病院（平成17年1月17日）
備 考	（問題点） ・既に指定されている2病院に加えて、県拠点病院として、岐阜大学医学部附属病院を推薦。
<b>国立大学法人岐阜大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	569床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	2,557名 （25.1%）
指定要件の充足度	・平成19年2月に腫瘍センターを必ず設置。 ・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。

## 静 岡 県

駿東田方医療圏	
人 口	約68万人
既指定がん診療連携拠点病院	静岡県立静岡がんセンター（平成15年8月26日9
備 考	特記すべき事項なし
<b>静岡県立静岡がんセンター</b>	
新規・更新の別	地域がん診療拠点病院として指定済（平成15年8月26日）
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	509床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	8,162名 （91.3%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

## 京 都 府

京都・乙訓医療圏	
人 口	約162万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>京都府立医科大学附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	893床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	2,495名 （22.6%）
指定要件の充足度	・平成18年度中に院内がん登録を必ず実施。 ・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。

# 兵庫県 No. 1

神戸医療圏①	
人口	約153万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・人口が多い。  (問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>独立行政法人 国立病院機構神戸医療センター</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	304床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,449名 (32.3%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>社会福祉法人恩師財団済生会兵庫県病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	279床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	723名 (14.3%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。
<b>医療法人振興会 神鋼病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	333床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,051名 (30.1%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>神戸赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	310床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	709名 (13.7%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>社会保険神戸中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	424床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	981名 (14.5%)
指定要件の充足度	・胃がん、大腸がん、乳がん以外は、院内がん登録を行っていない。



神戸医療圏②	
<b>神戸市立中央市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	902床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	2,903名 (16.2%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。 ・相談支援センターを整備していない。
<b>神戸掖済会病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	317床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	465名 (8.8%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>神戸朝日病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	150床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	270名 (17.1%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>国立大学法人神戸大学附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	874床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	439名 (4.0%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を実施していない。 ・腫瘍センターを整備していない。
<b>財団法人甲南病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	249床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	258名 (6.3%)
指定要件の充足度	・相談支援センターを設置していない。

神戸医療圏③	
<b>鐘紡記念病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	242床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	657名 (15.6%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>医療法人康雄会 西病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	60床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	96名 (15.7%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。
<b>医療法人川崎病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	297床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	438名 (11.5%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。
<b>医療法人神甲会 隈病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	57床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	955名 (58.0%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。

兵 庫 県 No. 4

<b>阪神南医療圏</b>	
人 口	約102万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・人口が多い。  (問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>独立行政法人労働者健康福祉機構 関西労災病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	670床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,238名 (24.7%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>兵庫医科大学病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	1,001床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,528名 (22.5%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。 ・腫瘍センターを設置していない。
<b>西宮市立中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	259床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	730名 (17.2%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。
<b>芦屋市立芦屋病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	272床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	494名 (16.5%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>兵庫県立尼崎病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	500床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,951名 (20.5%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。

<b>阪神北医療圏</b>	
人口	約71万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>公立学校共済組合近畿中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	408床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,018名 (8.9%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>宝塚市立病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	480床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,374名 (17.3%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>伊丹市立伊丹病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	414床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	770名 (10.1%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>三田市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	300床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	767名 (13.5%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。

兵庫県 No. 6

<b>東播磨医療圏①</b>	
人口	約72万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>兵庫県立加古川病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	400床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	795名 (17.1%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>加古川市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	351床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	953名 (12.2%)
指定要件の充足度	・相談支援センターが整備されていない。 ・院内がん登録を行っていない。
<b>明石市立市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	398床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,564名 (19.8%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。
<b>財団法人甲南病院 加古川病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	170床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	328名 (16.4%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。

# 兵庫県 No. 7

東播磨医療圏②	
<b>兵庫県立成人病センター</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	400床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,824名 (68.3%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>高砂市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	350床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	572名 (11.3%)
指定要件の充足度	・乳がん以外、院内がん登録を行っていない。

兵庫県 No. 8

<b>北播磨医療圏</b>	
人口	約29万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>西脇市立西脇病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	320床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	384名 (10.1%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。
<b>三木市立三木市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	323床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	699名 (14.5%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。
<b>加西市立加西病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	300床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	645名 (11.3%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。

兵 庫 県 No. 9

中播磨医療圏	
人 口	約58万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>医療法人社団新日鐵広畑病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	362床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,146名 (13.6%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>姫路赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	503床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	4,520名 (35.3%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>独立行政法人国立病院機構姫路医療センター</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	430床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,904名 (41.8%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>総合病院姫路聖マリア病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	360床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	833名 (13.6%)
指定要件の充足度	・胃がん、大腸がん、乳がん以外、院内がん登録を行っていない。

西播磨医療圏	
人 口	約29万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし。
<b>赤穂市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	376床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,084名 (14.8%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を実施していない。



# 兵庫県 No. 10

但馬医療圏	
人口	約19万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(問題点) ・複数のがん診療連携拠点病院の必要性について、患者の通院圏域、病院間の機能分担等に関する説明なし。
<b>公立八鹿病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	358床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	801名 (14.9%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。
<b>公立豊岡病院組合立豊岡病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	431床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,412名 (15.7%)
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。 ・院内がん登録を行っていない。

丹波医療圏	
人口	約12万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべきことなし
<b>兵庫県立柏原病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	303床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	418名 (10.0%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。

淡路医療圏	
人口	約15万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
<b>兵庫県立淡路病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	377床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,644名 (16.1%)
指定要件の充足度	・院内がん登録を行っていない。

# 和歌山県

田辺医療圏	
人口	約14万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・隣接する拠点病院のない御坊医療圏及び新宮医療圏をカバーする。
<b>社会保険紀南病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	352床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,378名 (19.2%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	294床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,336名 (28.9%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 岡山県

県南東部医療圏	
人口	約92万人
既指定がん診療連携拠点病院	岡山済生会総合病院(平成14年12月9日) 総合病院 岡山赤十字病院(平成15年12月16日)
備考	(問題点) ・既に指定されている2病院に加えて、県拠点病院として、岡山大学医学部附属病院を推薦。
<b>国立大学法人岡山大学医学部・歯学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	833床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	5,724名 (42.2%)
指定要件の充足度	・平成18年10月までに院内がん登録を必ず実施。 ・腫瘍センターについては、外来腫瘍センターを設置済。平成18年10月までに専任の長を必ず専任。 ・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。

# 広島県 No. 1

広島医療圏	
人口	約131万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	<p>(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域人口は131万人と多く、本県の人口のうち約46%を占めている。</li> <li>・広島大学病院は県がん診療連携拠点病院として全県を対象とする地域を担当。</li> <li>・県立広島病院は南部地域及び島しょ部、広島市民病院は中央部及び北部地域、広島赤十字・原爆病院は西部地域を主に分担。</li> <li>・機能面では、広島県立病院が緩和ケアの分野で、広島赤十字・原爆病院が血液がん治療の分野で全県を対象にした活動を担う。</li> </ul>
<b>国立大学法人広島大学病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	718床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	5,620名 (47.4%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>県立広島病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	715床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,482名 (20.1%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>広島市立広島市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	732床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,726名 (17.1%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
<b>広島赤十字・原爆病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	666床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	5,402名 (45.9%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 広島県 No. 2

広島西医療圏	
人口	約15万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
広島県厚生農業協同組合連合会	広島総合病院
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	570床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,697名 (15.0%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

呉医療圏	
人口	約29万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
独立行政法人国立病院機構	呉医療センター
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	650床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,226名 (26.7%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

広島中央医療圏	
人口	約22万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
独立行政法人国立病院機構	東広島医療センター
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	381床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	944名 (16.4%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 広島県 No. 3

<b>尾三医療圏</b>	
人口	約27万人
既指定がん診療連携拠点病院 備考	なし 特記すべき事項なし
<b>広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	442床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,386名 (15.5%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

<b>福山・府中医療圏</b>	
人口	約52万人
既指定がん診療連携拠点病院 備考	なし 特記すべき事項なし
<b>福山市民病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	394床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,696名 (23.3%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

<b>備北医療圏</b>	
人口	約11万人
既指定がん診療連携拠点病院 備考	なし 特記すべき事項なし
<b>市立三次中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	350床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	935名 (14.5%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 山 口 県

<b>下関医療圏</b>	
人 口	約29万人
既指定がん診療連携拠点病院 備 考	なし 特記すべき事項なし
<b>下関市立中央病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	430床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	712名 (10.8%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 徳 島 県

<b>東部 I 医療圏</b>	
人 口	約46万人
既指定がん診療連携拠点病院 備 考	徳島県立中央病院 (平成14年3月15日) 特記すべき事項なし
<b>徳島県立中央病院</b>	
新規・更新の別	地域がん診療拠点病院として指定済 (平成14年3月15日)
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	430床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	725名 (9.3%)
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

# 香 川 県

<b>高松医療圏</b>	
人 口	約45万人
既指定がん診療連携拠点病院	香川県立中央病院（平成17年1月17日）
備 考	<p>（複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する大川、小豆医療圏においては、候補となる病院がないことから、高松医療圏に整備する病院に対して、3医療圏を対象とした拠点病院活動を求めざるを得ない状況である。</li> <li>・3医療圏の面積は本県の半分を占め、人口も過半数を超える約56万人と多い。</li> </ul>
<b>高松赤十字病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	581床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	1,992名 （18.1%）
指定要件の充足度	・緩和ケアチームなし。

<b>中讃医療圏</b>	
人 口	約30万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
<b>独立行政法人労働者健康福祉機構 香川労災病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	394床
新入院がん患者数／年 （新入院患者数に占める割合）	2,103名 （26.0%）
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

## 高 知 県

<b>中央医療圏</b>	
人 口	約57万人
既指定がん診療連携拠点病院	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター (平成14年8月13日)
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・隣接する拠点病院のない医療圏(高幡医療圏、安芸医療圏)をカバーする。
<b>国立大学法人高知大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	570床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	2,685名 (35.1%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年7月中に緩和ケアチームを必ず設置。</li> <li>・平成19年1月に院内がん登録を必ず実施。</li> <li>・平成18年7月中に腫瘍センターを必ず設置。</li> <li>・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。</li> </ul>

## 熊 本 県

<b>熊本医療圏</b>	
人 口	約67万人
既指定がん診療連携拠点病院	市立熊本市市民病院(平成17年1月17日)
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) ・隣接する拠点病院のない医療圏をカバーする。
<b>国立大学法人熊本大学医学部附属病院</b>	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	793床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	4,499名 (38.2%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年8月より院内がん登録を必ず実施。</li> <li>・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。</li> </ul>



# 鹿 児 島 県

鹿児島医療圏	
人 口	約61万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	(複数の医療機関を拠点病院として推薦した理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が多い。</li> <li>・隣接する拠点病院のない医療圏（始良医療圏）をカバーする</li> </ul>
国立大学法人鹿児島大学病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	667床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	2,393名 (28.4%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度中に緩和ケアチームを必ず整備。</li> <li>・その他の指針に定める必須要件の整備は行われている。</li> </ul>
独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	370床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	1,251名 (24.5%)
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指針に定める必須要件の整備が行われている。</li> </ul>